令和5年度九州工業大学免許法認定通信教育「情報」 受講生募集案内

九州工業大学では、教育職員免許法別表第3備考第6号および教育職員免許法施行規則第48条の規定による免許法認定通信教育を開講します。当通信教育では、高等学校教諭一種免許状または専修免許状を有する方を対象に、高等学校教諭一種免許状(情報)を取得するために必要な科目を開設します。

※ただし、2年間を通したカリキュラムとなっているため、免許状の授与資格を取得するために必要な単位を揃えるには、最大2年間受講する必要があります。

【免許法認定通信教育とは】

一定の教員免許状を有する現職教員等が、上位の免許状や他の種類の免許状を取得しようとする場合に、大学の教職課程によらずに必要な単位を修得するために開設されている講習です。

開設科目等

No.	開設科目名 (授業科目)	授与 単位	受講料	受講定員	備考
1	情報社会と教育	2	10,200円	15人	
2	情報倫理	2	10,200円	15人	
3	プログラミング	2	10,200円	15人	実習有
4	データ構造とアルゴリズム	2	10,200円	15人	実習有
5	データベース	2	10,200円	15人	実習有
6	情報ネットワーク	2	10,200円	15人	実習有
7	情報メディアとコミュニケーション	2	10,200円	15人	実習有
8	教科教育法(情報)Ⅱ	2	10,200円	15人	

実施日時及び実施方法

授業科目により実施日時・実施方法が異なります。必ず別紙時間割により受講希望科目の実施日時・実施形態をご確認の上、全日程にご出席可能な科目のみお申し込みください。

※一部科目には、本学飯塚キャンパスにお越しいただく必要のある対面型授業も含まれます。

- ・オンライン（同期型）：オンライン会議システム Zoom を利用し、指定の日時にリアルタイムで受講していただく必要があります。
- ・オンライン（非同期型）：期間内のお好きな時間に授業動画の視聴や課題提出いただくことで受講可能なオンデマンド型授業です。学習支援システム Moodle で実施します。
- ・対面型：講師と同じ教室で受講いただく授業です。本学飯塚キャンパスにお越しいただく必要があります。オンラインでのご出席はできません。

成績審査の方法

成績審査は、レポート・課題の提出又は講義最終日の試験の実施により行います。
なお、講義を対面で実施する科目を除き、成績審査はオンラインで実施いたします。

開催場所

(対面型授業の科目のみ) 九州工業大学飯塚キャンパス(飯塚市川津 680-4)
(オンライン同期・非同期型授業) オンライン会議システム Zoom,
学習支援システム Moodle 等により実施

受講資格

他教科の高等学校教諭一種免許状又は専修免許状を有し、計算機・ネットワークの使用法などの基礎的知識を有する方

※「実習有」の科目については、「情報リテラシー(計算機・ネットワークの使用法などの基礎的知識)」の内容を前提に授業を進めます。パソコンの操作に慣れていない方は、本学で別途開講される情報教育支援士養成講座の「情報リテラシー」を、また「プログラミング」を受講される方は「プログラミング入門」(1科目受講料 9,800円)を事前に受講することをお勧めします。

「情報教育支援士養成講座」については、[こちら](#)をご確認ください。

受講条件

・自宅に性能要件を満たすパソコンがあり、高速のインターネット接続及びレポート作成可能な環境があること。パソコンの性能要件は HP にてご確認ください。

※本学での学習には、常時安定したネットワーク接続が必要となります。モバイルルーター等、通信量制限のある回線を使用している場合は、通信速度制限がかかり受講ができなくなる可能性がありますのでご注意ください。

・Web 会議ツール「Zoom」を使用できること。必ず開講式・ガイダンス実施までに、各自お使いのパソコンで Web 会議ツール Zoom のダウンロード・ログインを行い、ミーティングへご参加可能であること、正常に動作することをご確認いただきますようお願いいたします。なお、Zoom については同社ホームページ (<https://zoom.us>) をご確認ください。

・オンライン(同期型)授業を受講する場合は、授業担当講師からの指示に応じ、カメラをオンにしてご自身の顔を映した状態、及びマイクでの発言ができる状態での受講が可能なこと。

申し込み・問い合わせ先 :

九州工業大学 情報工学研究院教務学生支援課教務係 (〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4)
TEL:0948-29-7512 / FAX:0948-29-7517 / Email:jho-kyoumu@jimu.kyutech.ac.jp

講習料等必要経費

- 各コースの講習料に別途、振込手数料がかかります。
- 授業科目によっては、テキスト代が必要になる場合があります。(受講決定時にお知らせします。)

申込受付期間

令和5年 3月 3日(金) ~ 4月14日(金) ※消印有効で郵送にて受け付けます。

申込み方法

- **申込書類の提出先は、九州工業大学情報工学研究院教務学生支援課教務係です。**
- 下記の必要書類を揃えて、郵送にてお申し込みください。なお、書類に不備がある場合は受け付けられない場合がありますので、ご了承ください。
 - ① 受講申込書
 - ② 高等学校教諭一種免許状又は専修免許状のコピー
(裏面にも記載がある場合は、裏面も提出してください。)
- 申込み多数の場合は抽選となります。ただし、本講座は2年間のカリキュラムとなっているため、過去に本講座を受講されたことがある方の受講を優先させていただきます。
- 受講決定者には講習料振込用紙を発送しますので、**事前の納付は絶対に行わないでください。**
- 電話等による抽選結果の問い合わせには応じられませんので、ご注意願います。

開講式およびオリエンテーション

- 以下の日時で開講式およびオリエンテーションを行います。
※過去に本講座を受講されたことがある方も、**必ず**ご参加ください。

日時：令和5年5月7日（日） 10：30～12：00（予定）

Web 会議ツール「Zoom」を使用し、オンラインで実施します。詳細は受講者決定後に通知します。

内容：講義で使用する学習支援システム「Moodle」の説明、及び利用者登録等を行います。

単位の授与

試験、レポート等による成績評価で合格と判定された場合に単位を授与します。

また、各科目とも**総授業時間数の5分の4以上の出席が求められます**。なお、大学の通常講義と同じですので、不合格になることもあります。

申込書記入上の注意

1. 申込書は楷書でご記入ください。
2. 受講を希望する開設科目(授業科目)右側の受講希望欄に、○印を付してください。
3. ○印の付した受講金額の合計を合計金額欄に記入してください。
4. ※欄は記入しないでください。
5. 申込みは、郵送または持参にてお願いします。

お問い合わせの前に

下記ホームページに、よくある質問を掲載しておりますのでご参照ください。

<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/faculty/josi/license-law#i-5>

各開設科目の概要

科目区分	開設科目名	科目の概要
情報社会・情報倫理	情報社会と教育	情報社会の構造と特質の理解に基づいて、情報化がもたらす社会構造の変化、及び情報技術の革新がもたらす社会的影響について講義する。また、情報社会の諸課題を解決する情報技術と求められる倫理観についても言及する。さらに、情報社会における教育の変化や情報化について教えるとともに、情報教育や情報セキュリティ確保など教育の情報化におけるICT支援の内容や方法についても扱う。キーワード: 情報社会, 教育の情報化, ICT支援, 情報教育
情報社会・情報倫理	情報倫理	高度情報社会における情報の恩恵(光)と問題(影)について、事例を示しながら解説する。また、その情報社会の光と影について適切に対応する知識や技術、態度を習得するための演習を行う。情報倫理に関する事象について理解したうえで、起こりうる問題に対応する知識や技術、態度を修得することを目的とする。キーワード: 情報倫理, 情報モラル, 情報社会の光と影
コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	プログラミング	授業の前半は、C言語の基本的なデータ型と演算、接続・選択・反復の制御構造、入出力を理解し、C言語を用いたプログラム作成技術の習得を目標とする。後半は、最大値・最小値問題や簡単なソートの方法などにより、基本的なデータ構造・アルゴリズムについて学習する。さらには、関数やポインタ、文字列の処理などについて学習する。これらの目標を達成するため、授業は講義と実習を織り交ぜながら行う。キーワード: プログラミング, プログラム, プログラミング言語, C言語
コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	データ構造とアルゴリズム	「コンピュータで問題を解く」ためには、データを表現する「データ構造」とデータを処理する「アルゴリズム」を適切に選ぶことが必要となる。この講義では、抽象データ型に基づく構造化プログラミングの実際について学ぶ。また、基本的なデータ構造の代表として文字列やスタックなどを取り上げて、それらを用いたC言語によるプログラミングを、講義と実習を織り交ぜながら学ぶ。キーワード: データ構造, アルゴリズム, 抽象データ型, 形式言語, 分割コンパイル
情報システム (実習を含む。)	データベース	データベースは、計算機科学の中でもっとも基礎的な分野の一つである。データベース管理システムは、大量のデータを管理するシステムとして、広く応用されている。本講義では、データベースの基礎概念からデータベースの設計法、データベースプログラミングまでを習得することを目的とする。授業は講義と実習を織り交ぜながら行う。キーワード: データベースシステム, リレーショナルデータベース, SQL, セキュリティ
情報通信ネットワーク (実習を含む。)	情報ネットワーク	情報ネットワークの仕組み、特にネットワークアーキテクチャの意義を理解し、ネットワーク工学の基本を身につけることを目標とする。毎日使うウェブ/メールの仕組みや、ネットワークセキュリティを講義と実習を織り交ぜながら学ぶ。範囲は原理の学習からパソコンのネットワークコマンド操作やウェブページ作成、さらに信号データの解読や手作業による原理の確認までを含む。キーワード: 情報・通信, ネットワーク, ネットワークセキュリティ
マルチメディア表現・マルチメディア技術 (実習を含む。)	情報メディアとコミュニケーション	情報メディアやコミュニケーションに関する概念や、マルチメディア表現のための情報の表現やメディアの特性についての学習を行うとともに、目標に沿ったマルチメディア作品(CM, ポスター等)の分析・制作実習を通じて、文字、画像、音声等を統合したマルチメディアでの表現技法とその技術について修得する。授業ではこれらの情報メディアがコミュニケーションとどのように関わっているかについて考察する。キーワード: 情報メディア, コミュニケーション, プレゼンテーション, DTP, マルチメディア, 表現力
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	教科教育法(情報)Ⅱ	Society5.0実現に向けて、学生や社会人が情報科学の素養を身に付けるための受皿となる情報科学系教育体制の充実が求められている。高等学校の教科「情報」では、情報に関する幅広い知識とともに、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する実践力と、情報モラルの育成が必要である。教科教育法(情報)Ⅱでは、教科「情報」の授業に焦点を当て、授業計画、授業環境の整備、学習評価、教材開発、指導案の作成、授業実践の方法などについて学習し、模擬授業を実施し、評価・改善して教科「情報」を担当する教師としての実践的な力量の形成をめざす。キーワード: 高等学校情報科, 教育目標, 教育内容, 教育方法

令和5年度免許法認定通信教育受講申込書

教科:「情報」

写 真
(6ヶ月以内のもの)

※の箇所は記入しないこと。

記入日 令和 年 月 日

直近の
受講年度

年度

受付番号	※				
フリガナ		性 別	男 ・ 女	生年 月日	昭和・平成 年 月 日
氏名					
E-mail アドレス	(自宅・勤務先・携帯)				
フリガナ					
住 所	〒				
	電話	()	携帯		
勤 務 先					
勤 務 先 所 在 地	〒				
	電話	()			

受 講 申 込 欄

No.	開設科目(授業科目)	受講希望	受講金額	備 考
	開講式およびオリエンテーション	※		※過去に本講座を受講されたことがある方も、必ずご参加ください。
0	情報リテラシー		9,800円 (*1)	
	プログラミング入門		9,800円 (*1)	
1	情報社会と教育		10,200円	
2	情報倫理		10,200円	
3	プログラミング		10,200円	
4	データ構造とアルゴリズム		10,200円	
5	データベース		10,200円	
6	情報ネットワーク		10,200円	
7	情報メディアとコミュニケーション		10,200円	
8	教科教育法(情報)Ⅱ		10,200円	
合 計 金 額			円	

(*1) 情報教育支援士養成講座の「情報リテラシー」は実習を含む科目、「プログラミング入門」は「プログラミング」の受講に必要な基礎的知識を修得することができます。特に、パソコンの操作に慣れていない方は「情報リテラシー」を受講されることをお勧めします。